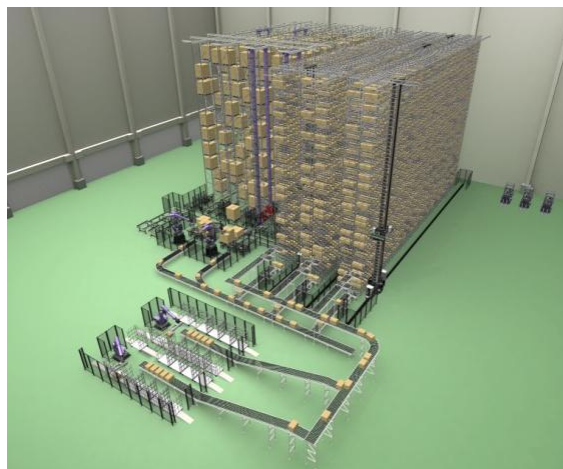


**MR システム「MREAL」を株式会社ダイフクに納入
～物流システムの事前検証に活用し、競争力を強化～**

キヤノン MJ IT グループのキヤノン IT ソリューションズ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：神森 晶久、以下キヤノン ITS）は、キヤノン MR システム「MREAL」を、大規模物流システムの事前検証用として株式会社ダイフク（代表取締役社長：北條 正樹、以下ダイフク）に納入しました。



MREAL で大規模物流システムの設計データやプレゼンテーション用データを臨場感を持って確認（写真上：表示ディスプレイ装着イメージ）。スムーズに製造工程に入ることができる。



画像イメージ

ダイフクは、配送センターの自動倉庫や仕分け・ピッキングシステムなど最先端の物流ソリューションを提供する世界トップクラスの物流システムメーカーです。お客さまの要望にあわせて、自動倉庫などの物流システムの設計および製造を行っています。設計する物流システムの中には高さが数十メートル、奥行きが数百メートルに及ぶものもあり、これまで実物での事前検証は不可能でした。

この度納入した MR (Mixed Reality：複合現実感) システム「MREAL」は、現実世界と CG をリアルタイムに違和感なく融合させることができるシステムです。「MREAL」を活用することで、設計段階から 3D CAD データをもとに具体的なイメージを実寸大で体感することが可能となります。これにより、効率的なデザインの検証や試作回数の削減が可能となるため、開発期間やコストの圧縮を実現する支援ツールとして、製造業や建築・建設業における設計・製造の現場などで、高い評価を得ています。

ダイフクは「MREAL」により、3D 映像による実物大イメージで大規模物流システムを事前検証することが可能になりました。これにより、設計・生産・アフターサービスなどの部門間でイメージ共有と円滑なコミュニケーションが図れ、開発・設計の手戻りが減るという効果を生み出しています。またお客さまとの商談では、これまで物流システムの一部を実際に製作し、外観や作業性、安全性などをお客さまに確認した上で製造していましたが、MREAL の活用により、早い段階で具体的な全体イメージを共有できるため、仕様や要件の定義がスムーズに進められるようになりました。その結果、お客さまの要望に沿った物流システムを効率良く高品質で提供することが可能となりました。

■株式会社ダイフクの概要

社 名 : 株式会社ダイフク

本社所在地 : 大阪市西淀川区御幣島 3-2-11

代表取締役社長 : 北條 正樹

設立 : 1937年5月

事業内容 : 物流システムに関するコンサルティングとエンジニアリングおよび設計・
製造・据付・サービスなど
－搬送システム
－保管システム
－仕分け・ピッキングシステム
－制御システム

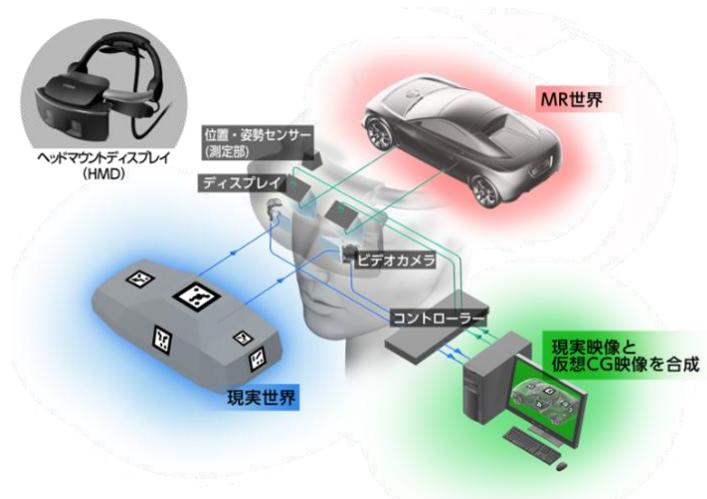
U R L : <http://www.daifuku.co.jp/>

-
- 報道関係者のお問い合わせ先 :
企画本部 経営企画部 コミュニケーション推進課 03-6701-3603
 - 一般の方のお問い合わせ先 :
エンジニアリングソリューション事業本部 MR 事業部 03-6701-3328
 - MREAL ホームページ : <http://www.canon-its.co.jp/mr/>
-

<MR (Mixed Reality) システムについて>

MR (Mixed Reality : 複合現実感) とは、現実世界と CG をリアルタイムに違和感なく融合させる映像情報処理技術です。MR システム「MREAL」により、CG があたかも目の前で現実世界に存在しているかのような臨場感を提供します。

「MREAL」の原理



- ① HMD に内蔵された左右一対のビデオカメラによって現実世界を撮影し、その映像をコンピューターへ送ります。
- ② 画像処理や位置検出センサー、あるいはその両方を組み合わせた位置合わせ技術により、コンピューター内の CG と現実世界の映像を高精度に融合し、HMD に搭載された小型表示ディスプレイに表示します。
- ③ 先進的な技術を結集した光学システムでディスプレイの映像を拡大し、臨場感のある立体映像をユーザーの眼に届けます。

<「MREAL」の主な特長>

1. 実物大で高精細な CG を描画し、優れた臨場感を実現

ビデオを通しての映像にも関わらず、あたかもそこにあるかのように、現実空間に CG を重ね合わせるため、仮想のモックアップでも本物と同じ感覚で体験できます。

2. 高精度かつ高速な位置合わせで、現実と仮想の世界を正確に融合

HMD の位置と姿勢をリアルタイムで計測し、1 コマごとに CG を描画することにより、ユーザーの姿勢の変化や動きに瞬時に対応した合成映像を提供。

<「MREAL」の製品名称とロゴについて>

「MREAL」の「MR」は Mixed Reality (=複合現実感)、「E」は Extreme (最先端・究極)、「A」は Art (技術)、「L」は Leader (先導者) を意味しています。

また、右記の製品ロゴは「m」と「r」をモチーフにしています。滑らかな曲線は、現実世界と仮想世界を繋ぐことで得られる柔軟性や限りない可能性を表しています。

キヤノンは、MR の分野において、今後も業界の先導者として最先端のソリューションを提供していきます。

